

あ い さ つ

青木村長 北村 政夫

令和3年第1回青木村議会臨時議会にあたり、ごあいさつを申し上げます。

青木三山の木々も芽吹きを始め、日に日に緑の等高線が頂上に向かい始めております。また里では草木の緑が一段と鮮やかさを増し、早い田んぼでは田植えの準備が始まるなど、五月晴れの続く絶好の季節となりました。

議員皆様方におかれましては、4月20日告示の青木村議会議員一般選挙において見事当選されましたこと、心からお祝いを申し上げますと共に、今後の青木村福祉の増進のためご活躍されますことをご祈念申し上げます。

私もこの度の村長選挙におきまして、当選させていただくことができ、本日5月7日、改めて村長に就任させていただきました。新たな気持ちでここに立たせていただいておりますが、全村民の皆さんへの感謝の気持ちと、与えられた責任の重さに身が引き締まる思いでいっぱいでございます。

さて、現在の最大の国政課題は、新型コロナウイルス感染症対策であります。さらに様々なグローバルな社会現象が、一口では語り尽くせない多様性の中で蠢いております。一例を申し上げれば、隣国からの軍事的な脅威、1000兆円を越す国と地方自治体の借金などの財政問題、超少子化・高齢化社会へ向けての対策、そして世代間による価値観の相違と多様性、等々行政を取り巻く課題は山積しております。

一方村内に目を向けますと、村民アンケートでは、最も優先してほしい政策として、少子化対策・高齢者対策などに起因する医療・福祉及び子育て・教育の充実の割合が高くなっております。そこで私は、村政を進めていく上で以下の2点の基本的な考え方のもと、今後の村政を運営してまいりたいと考えております。

第一に、村の財源を増やす基盤をつくることが極めて喫緊の課題であると考えております。村が村税などの自主財源で行政経費をどれだけ賄えるのかを示す財政力は0.22と、県下市町村平均の0.39を大きく下回っているのが現状であります。私が選挙中訴えてまいりました村づくりの基本方針は、人口減少に歯止めをかけ、観光振興や村の特産品の創出により財源を豊かにし、企業誘致を行い、工場を造り雇用の場を確保する、それをもちまして医療・福祉、そして子育て・教育の拡充を図っていくことでもあります。5年後、10年後、そして更にその先の未来を見据えた時、しっかりした中・長期的な展望の中で発展軸のレールを敷かなければならないと考えます。構造的に少子・高齢化の進む中ではありませんが、青木村には自然環境や文化・歴史、そして人材など様々な豊かな資源があり、これらをどのように活かしていくかが大きな課題であります。

村政に近道や特効薬はありません。村の課題を専門知識によって分析し、解決等をコスト含めて検討し、プライオリティの高い政策から実現していくこと、当たり前の政治を、当たり前の行政を愚直に行うことが必要であると考えます。全国1,718の市町村（内、村の数は183）は、どこでもほとんど同じ課題を抱えております。頭ひとつ抜け出すには、それなりの努力が必要です。「努力は人を裏切らない」という諺がありますが、私は1,718人の首長の中で誰にも負けない努力をしてまいります。

第二に、村政の課題解決に向けての果敢なチャレンジであります。

新しい仕事をすればするほど問題も発生し、失敗もあります。上手く

いかないこともあります。時間のかかることもあります。しかし私は、村民の皆さんの期待に応えて、現状に甘んじることなく、志を強く持ち、新しいことへの挑戦をしてまいります。

このような中、1期目、2期目の村長職8年間で、関係人口・交流人口の確保、財政力の強化、若者定住の促進、民間からの応援など、村の課題を解決し活性化につながる基盤づくりができつつあると思っております。そして、日常生活の利益性、子育てのしやすさや老後の医療・介護体制の充実さなどを評価していただき、「住みたい田舎日本一」の村になりました。これは私一人の力ではなく、村民の皆さん、議員の皆さん、役場職員の皆さんのご支援・ご協力があって成し遂げられたものであります。

さて、今回の村長選で私は公約として、青木村の未来に向けた五つの重点推進プロジェクトを掲げました。

① 新型コロナウイルス感染症プロジェクト

村民の皆さんの命と暮らしと経済を守ります。

② 国道143号青木峠バイパス（新トンネル）整備活用プロジェクト

早期の着工、完成を目指します。医療の充実、観光や経済の交流、産業の振興などの基幹軸として、最大限の活用を図ります。

③ あおきっ子 小・中学校全学年2クラス化プロジェクト

婚活から結婚、妊娠、出産、子育て、教育、就職までトータルでサポートします。

④ 健康寿命延伸プロジェクト

保健・医療・福祉・介護予防・日常生活支援の充実を図り、高齢者が安心して暮らせる環境を整備します。

⑤ 新時代創生プロジェクト

アフターコロナ社会を見据えて、新時代にふさわしい暮らし方、働き方、生き方を村民の皆さんと共に見出し、計画・実践していきます。

そして、何はさておいても最優先事項は新型コロナウイルス感染症対策関連であります。変異ウイルスの拡大により、国内の第4波が収まる目途はまだ立っておりません。村行政にとりましても、村民の皆さんの命と暮らしと経済を守る事が何よりも優先すべき喫緊の重要課題であり、総力を挙げて取り組んでまいります。

おかげさまで、高齢者への第1回目コロナワクチン接種は、約85%の方々に受けていただきました。第2回目は5月23日終了の予定で、ワクチンの確保も既にできております。引き続き、65歳未満の方々にも早期に接種していただける体制を整備してまいります。

また、①竹内製作所の操業開始、②国道143号青木峠新トンネルの早期着工のため注力してまいります。

今回の選挙は前回に引き続き無投票となりました。村民の皆さんに公約を訴える機会が少なかった上、選挙と言う審判をいただけなかったことから、白紙委任されたわけではありませんので、今まで以上に村民の皆さんと向き合い丁寧な行政を心掛けていきたいと思っております。

8年間村長をさせていただき、村の財政力を強くすることが将来にわたり是非とも必要であると痛感しております。そのために、農業や環境等の調和を図りながら企業誘致に鋭意取り組んでまいります。

村民憲章に謳われておりますように、『正義と郷土愛に献身した先人を誇りに、さらに清新にして、明るく豊かな村にする』ため、希望に満ち

た美しい村づくりにこれからも真摯に、そして決意を新たに邁進してまいります。

そして、五島慶太翁は『第一に体力、第二に熱と誠、これだけあれば必ず目的を成し遂げられる』と、70年の生涯で得た人生観を語っております。この精神で私もチャレンジし、村民の皆さんには勇気と真心を持って真実を語る開かれた村政を実現させます。

さらに、かのサミュエル・ウルマンは「青春」という詩の中で、

『真の青春とは、強い意志、豊かな創造力、燃え上がる情熱、感動する心、子どものような好奇心、未知の人生に挑戦する勇気と喜びである』
と語っております。

私はこれを心の糧として、今日から始まった第3期目村長職の第一歩を踏み出しました。

以上、私の所信を申し上げます。

今後、村議会議員の皆様とは率直な意見交換を行い、お互いに知恵を出し合える建設的な関係のもと、地方自治法がいうところの村民の皆様
の「福祉の増進」という共通の目的に向き合えるようお願いをすることでございます。

どうか議員各位におかれましては、今後の村政運営に対し格別のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げ、私の3期目の村長就任にあたっての所信の表明とさせていただきます。